

シルバー

ところざわ



◆発行 社団法人 所沢市シルバー人材センター広報部会 1998.10.15日発行 No.64

大旅館のロビーの吹き抜けにびっくりん!

総勢百三十名の大宴会

今年の会員親睦旅行は母畑温泉



幻想的な袋田の滝

毎年恒例のお

楽しみ——シルバー会員親睦旅行は、今年は九月二十八、九月日、福島県の郡線沿いの母畑温泉一泊で行われました。総勢百三十名が参加、バス三台を連ねた堂々シルバー始まって以来の大旅行団となりました。宿の八幡屋は、福島県の温泉旅館でも名門中の名門ですが、さすがに大旅館、同じような団体が五、六組もあり迷うほど。宴会ではカラオケ大会に商品も出て大いに盛り上がりました。

今年、松井、

山口、東西新所沢の各地区を回って会員を拾い、七時十五分には三台がシルバー前に集合。ほぼ定刻通りにぎやかに留守番職員に見送られて出発。

所沢インターから水戸へ、まずは徳川慶喜を偲んで展示館をテレビドラマと合わせて興味深々と見学、昼食は竜神の大渓谷が眼下。大吊橋からの景観を眺めようと早目に食べ終える人もいて、足下百メートルに足をすくませながら、皆息を呑む渓谷美を堪能しました。袋田の滝では水の丸くなって落ちる様子を眼の前にはずぶぬれになってスゴイスゴイを連発、ほどなくして一日目の宿、八幡屋に到着。

宿は規模も構えも立派で、庭園も素晴らしく、ロビーの壮さに圧倒されるほどで、大満足。ゆったり風呂につかって、さて宴会へ——。

高野理事長の挨拶、長野理事の乾杯など型通りを経て歓談、飲む程に賑やかに盛り上がり、知る人知らない人お互い親睦を深めました。

翌朝は老人らしく早目に目覚めた人が多いせいで、九時に皆はつらつと打揃って出発、張子作りを見に三春デコ屋敷へ向かいました。車中は相変わらずのカラオケごんまい。

郡山からいわき湯本に出、小名浜でちよつと遅目の昼食。食事の後、ここの魚市場で盛りだくさんの海の幸をながめ、安い安くないとしきりに品さだめ。だれが食べるのか持てない程買込んだ人も。

帰りは途中守谷のサービスエ

初めての親睦旅行

私には大変有意義な親睦旅行でした。

センターに入会したのは今年の五月連休明けで、会員になってこの度初めてセンター会員の親睦旅行に参加しました。宿泊地は福島県母畑温泉八幡屋です。当日は早朝より曇り小雨でした。私の乗車場所はシャンピアスイミングで地区委員さんはじめ皆様方のお名前は解って居てもお顔を合わすのは初めてです。地区委員さんはじめ、皆様方すべての方が気楽に話して頂き、会員皆それぞれ特色を持ち、何事にも前向きで自然的に実行して居る様子が良く解り、自分自身の事で大変反省することが多く感じて、今後皆様方のように何事にも積極的で陽気である老後の人生を過して行きたい事を会員の方々から心身よ

リアでちよつと休憩のほかは、常磐道、関越道を経て順調に走り、重いおみやげを提げた人提げない人、ぐつすり眠る人眠らない人、いろいろ乗り合わせたまま所沢へ無事帰着。五時半でした。

(藤原記)

新所沢地区 掛水 良眞

り感じ、今後は少しでも数多く皆様と接触して、私も出来るだけ何事にも前向きに進みたいと想着している昨今です。

誠にいたらない者ですが、今後共宜敷く御願ひ申します。

私の乗車バスは三号車です。センターさんのお話しでは観光バス三台で旅するのは初めてだとの説明でした。旧市役所前に三車集合、七時三十分出発、関越道大泉、三郷、守谷で休憩後常磐道水戸、徳川慶喜展示館見学。十一時五十分竜神大吊橋で昼食。休憩後は自由行動。約一時間の散策後は次の目的地袋田の滝見学。滝の水量が大変多くて雄大の一言そのものでした。旅行者さん方から一様に出た言葉は、今日の様な水量が多く見事な滝は、めつたにお目にかかれ。現在お目にかかれた

観光者は常日頃行ないが良いからとの事。そのように思いましよう。

皆様持ち前の上手な車内カラオケ楽しく愉快に過ごさせて頂きました。又旅館も大変立派で大広間宴会では自慢の歌や芸達者勢揃いで大いに楽しませて頂きました。

一夜明け天気晴。帰途九時出発、途中三春デコ見学。小名浜で昼食。無事に予定通り所沢旧市役所前に帰着。シルバー様初め各地区委員会と皆様色々とお世話になりありがとうございます。次回の旅行も楽しみにして居ります。

ゆれない大吊橋にがっかり

松井地区 岡崎タキ子

書いて見ます。

私は一年目に参加したのが長野県の元善光寺と黒四ダム。これが楽しくて今度の旅行も参加させてもらいました。

突然シルバーの田中さんから旅行の感想文を書いてくれないかとの話が二時頃電話ではない、私はシルバーに入会して一年半なのに、また感想文なんて書いた事もないので一度は断わったのですが、何事も挑戦と思いつつ書いて見ますと返事はしたけど、明日までとの事大変に困りました。まず何から書いていいのかわからない事、その事、それぞれの人の事考えましたが、私なりに、つた事を

まず竜神大吊橋これを見た。日本一の吊橋で橋の長さが三七五メートル幅三メートル。湖面からの高さが一〇〇メートルという吊橋。どんなに揺れるかと楽しみにして行きました。秋谷さんと早く渡ろうと急いで橋に行き、渡りかけてなんだこ



会員親睦旅行会計報告

<収入の部>

摘要	金額	備考
会費	2,250,000	125人×18,000円
職員負担金	49,500	3人×16,500円
センター負担金	497,000	
祝金	90,000	高野理事長・伊藤・兼松両副
理事長・伊藤義雄・松野会員・(株)所沢紙工・矢島専務・秋山・澤口理事・和田保健婦		
繰越金	21,138	前年度繰越金・預金利息
合計(A)	2,907,638	

<支出の部>

摘要	金額	備考
宿泊費	1,452,750	130人×11,175円
昼食費	286,650	130人×2,205円
見学料	119,600	130人×(640円+280円)
	9,030	129人×70円
車内飲物	95,298	ツマミ等
宴会費	148,942	八幡屋
土産代	28,350	ご芳志者お土産代
有料道路等	98,700	有料道路及び駐車料
旅行傷害保険料	26,928	132人×204円
乗務員謝礼	18,000	6人分
乗務員宿泊費	45,000	6人×7,500円
乗務員昼食費	6,300	6人×1,050円
バス借上費	567,000	
雑費	5,090	フィルム等
合計(B)	2,907,638	

収支差額 (A-B) 0円

尚、理事長、伊藤・兼松両副理事長より懇親会賞品等を頂きました。

(社)所沢市シルバー人材センター事務局

※スナップ写真を事務局に展示しておりますのでご覧下さい。また、ご希望の方は事務局にて受付けております。



ンク(の橋じゃ揺れません。二人でがっかりしました。でも雨も降らず暑くて日傘をさして渡りました。

今度は袋田の滝。二十年前に一度見ていますが今回は水が多くて滝が押し寄せて来るようでもっとも迫力があり、凄いの一言でした。帰る道は来た道と別の道を歩いていくと知っている人が何人も一緒にいる、自然を楽しみながら写真を撮ったり色々な話をしながら、私より年上の人が多いのに皆さん若いな

あ、元氣だなあと、私も負けず歩きました。

夕方五時頃福島県の母畑温泉の八幡屋に到着、バスの中でこの旅館は石川県の加賀屋と同じ設計士が設計されたとの事、外見は変わった建物で中に入るとロビーが外国のホテルのようですごく気に入りました。

夕食になり大広間に集合、お膳に座り理事長さんのお話に今年の参加者は百三十人。昨年は九十何名でこれからは毎年いい所を見つけて旅行するので体に気をつけて今年よりも多く参加するように話され、私も毎年参加させてもらいたいと思いました。

カラオケが始まり皆さん持ち歌を楽しく歌い踊り、審査員の方々も大変だったと思います。

同道いただいた保健婦さんから
お礼状をいただきました。

母畑温泉一泊旅行では、大変お世話になりました。誠にありがとうございました。誠にありがとうございました。

お天気にも恵まれました、何の事故もなく、皆様御無事で楽しまれた御様子で、心より嬉しく思わせていただきますと同時に、感謝申し上げます。

始めて参加させていただきました

色々ユニークな名目をつけ表彰され、とっても楽しく有意義な、思い出にのこる旅行でした。お世話して下さった皆様本当にありがとうございました。



ですが、皆様のお元氣な熱いパワーには驚いてしまいました。これからも、お身体にはくれぐれも御自愛下さいまして、昨日までの豊かな御経験を社会の為に大いに生かしていただき、長生きして下さいますように、心よりお祈り申し上げます。

(藤吉紀代美)

埼玉県生きがい振興財団主催で県下全シルバー
対象に研修が毛筆筆耕、駐輪場管理、襖障子張
替、四つ目垣根作成の四種について行われました。
当センターから申込参加された方より研修記並
びに感想を頂きましたのでご報告いたします。

毛筆筆耕研修

会員毛筆筆耕研修に参加して
松井地区 中村 栄二

人間、歳をとると気がせい
てくるのは、私ばかりではない
らしい。

当日の会場、浦和の県民健康
センターのロビーには定時の一
時間前からそれらしき人が数
人、ちよっぴり不安そうな顔で
たたずんでいた。

私の場合も若かりしころ自己
流の習字で筆をいじくったこと
はあるが先生について基本から
学ぶなどという経験はゼロ。

それだけに今回の研修には何
としても参加してみたいとい
う意欲だけは人一倍であった。し
かし今さらとの不安感もあつ
て、なんとなく落ち着かない。

朝十時の開始で午前が二時
間、午後が二時間、講義を聞いて
いると実習の時間があるのだ

ろうかと心配されるほど先生も
熱心だ。

今回の実用書道とは、一般に
行われている芸術を目指す書道
とは違って、一字書いていくら
の商業書道である。したがって
今までの道でいけないとされ
ていた補筆「なぞる」直線を引
いてその上に書くなどが許され
るし、少しでもきれいに見せ、
依頼主の要望に応えることが第
一とのことだ。

永字八法の基本から始める予
定ではあったが参加者のレベル
がかなり高いと講師の方々が判
断されて、手紙の宛名書きから
始まった。

このようなことで午前の二時
間はあっという間に過ぎて、午
後の部となったが、私の腕の悪
さは封書の宛名書きで、住所に
比べ名前だけがいやに大きくな
りすぎて、子どもが初めての習
字でげんきのよい大きな字を書
いた)とまったく同じ。これだ

から参加したのだと、自分自身
納得して翌日も張り切って出席
したが、この手筋の悪さは二日
間の研修ではとても上達はむ
り。

熱心な講師の方々には申しわ
けなく感じつつ、反面充実感に
満ちて会場を後にした。



駐輪場管理研修

カギ弁償の話に世相を思う

小手指地区 捧 巽

晴れた日が少なく、曇り、雨
の日が多く、梅雨の切れ目が無
いような、うっとうしい今年の
夏。毒物事件。強盗事件の多発。
金融の色々の問題があり、防衛
庁背任事件と云う不祥事までと
どまるところを知らぬ世の中
である。

こんなことで二十一世紀が迎
えられるのか心配だ。
聞くところによると二十世紀
で地球の終焉を迎えるであろう
と云う話もある。エ、ニーニョ

現象、オゾンホールの出現など。
その前触れと思われるような
現実。

それでも尚一生涯懸命多くの
人々が働き続けているのである。

今日も研修で聴くと、十三年
ものベテラン会員が、自転車の
カギを破損させたと云うこと
で、この研修に参加する羽目に
成ったと云う。

人の善意が相手に伝わらず、
カギの弁償を余儀なくされたた
のこと。

カギを弁償するのが一番安易
な方法なのかもしれない。しか
し乍ら、それがすべての欺瞞の
始まりと考えると、なんとも恐
ろしい。

カギを得たかと思っ
ても知れないが、人間としての自
尊心に傷がつかなかっただろう
か。何時も悪いやつが得をする
ような気がする?などと考えな
がら浦和の町を駅に向かってい
た。

永年にわたって、昔ながらの
一貫した方法でのせんべい作り
で知られた、「まんさく」の頑固
おやじと、長々と話し合っ
て、少しは良い気分になって、もうす
ぐ来る夢のような二十一世紀の
ことをあれこれ考えながら、帰
途についた。

西武ドーム球場フリー

マーケット
—— 出店報告 ——

前号でお知らせしたように8月23日、西武ドーム球場で開催されたフリーマーケットに、ちっちゃなちっちゃな店を出店しました。抜けるような空と黒ん坊が出来ちやいな日差しの中、会員の沢田さんと村上さんにご協力いただいて宣伝と会員作品の販売を行いました。古

職場めぐり

こんな仕事こんな職場(6)

自転車で畠中の道を走る。うつすらにじんだ汗を心地よく風が拭いて呉れる。道端に立っている「ふるさと歩道」の道しるべ「標示塔」を清掃し、まわりの雑草を刈る。きれいになったところで、ちよつと眺めてまた次の標示塔へ……。

埼玉県で定めた史跡などをめぐる「ふるさと歩道」の内、所沢市内二十キロは、標示塔七十一本これらの清掃と保持管理を引き受けているのが五人のシルバーさん。そのうち、下富の三富開拓地・多門院、毘沙門天宮、十四軒等々と廻って下富フラワーヒルまで受け持っているのがKさん。Kさんはこのコース

着なにか並ぶ中、手作りの作品は、新鮮なようでした。売り上げが伸びなかったのが残念でした。

婦人部日帰り研修旅行

恒例の婦人部日帰り研修旅行を次のとおり開催致します。秋の一日を楽しみましょう。

婦人部だより

先着35名で締め切らせていただきます。お早めにお申し込み下さい。

を月に二度廻る。

「苦勞さんですなえ」と通りがかりの見知らぬ人が声を掛けてくれる。物好きなボランティアと思われたかもしれない。外廻りだから、雨や風などつらい日もあるでしょう。

決められた作業の日(時間)は幅があるので、天気の良い日に廻っています。ちよつと一日遠足といったところでしょかね。今度来る時、植木鉢持ってこようとか、ここは洗剤で洗ってやろうとか、標示塔にもそれぞれ個性があつれどうなっているかななんて……

たった月に二日の仕事だけでなく、七十を越えた老人には体力、気力にあつた仕事でね。停年退職したばかりの頃は一日八時間、週に六日だつて働きたいと

記

一、日時 平成10年11月19日(木)

一、行き先

大蔵省印刷局滝野川工場他
一、集合場所及び時間
旧庁舎東口玄関前

午前8時45分集合

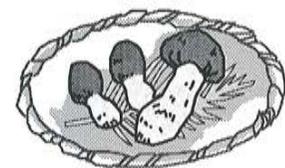
一、申込み

10月15日より受付、事務局 齋藤まで

一、参加費 三、〇〇〇円

思つてたけど、今の私にはこんな週に何日とか、何時間とか、軽い雑役アルバイトの様なのが良いですね。だれでも七十台になつても「おじいちゃんご苦勞さんですな」と声を掛けて貰える様な職場があると、ああシルバーに登録しておいて良かったと思うんではありませんか。

老後は孤独になり勝ちですし、まだまだ働きたい老人の為にどんどんこの様な軽い求人も開拓して下さい。(梶畑記)



お知らせ

ことしも
所沢市民フェスティバル
に参加します

第19回所沢市民フェスティバルが今年も所沢航空記念公園を会場に10月24日、25日の両日開催されます。

昨年は、晴天にも恵まれ2日で約50万人が訪れました。今年も昨年と同じ場所である福祉団体コーナー内に参加します。シルバー人材センターのPRや入会・仕事の依頼などの相談を行うコーナーと婦人部会員をはじめめとする「会員作品展示販売」も行います。

会員の皆さんも万障繰り合わせ、知人、ご友人等お誘い合わせの上奮闘する会員の皆さんを激励されると共に、作品購入などPRにもご協力を。センスと格安が魅力の作品がどんどん出上来がっています。ぜひ訪れてみて下さい。

恒例のシルバー人材センター事業普及啓発促進月間が、10月1日から10月31日まで全国統一運動として展開されております。当センターも各部会をはじめ、運動の一貫として、次の事項の実施を決定しましたので、会員皆様のご理解と積極的なご協力をお願いします。

恒例シルバー人材センター事業普及啓発促進月間スタート

一、趣 旨

センター事業の理念を広く市民の方々に浸透して頂くと共に会員皆様においては、安全就業・適正就業等を積極的に推進しセンター事業の正しい理解と定着を図る。

二、実施期間および実施項目

実施期間 平成10年10月1日～31日
 実施項目 リリーフレット等によるセンター会員の募集や事業主に対しての広報活動

【思うに任せぬお仕事紹介】 求人情報

いつまでも続く不景気風!!

超不景気のあおりで折角新しくスタートしたお仕事紹介のコーナーもなかなか意に任せず頭の痛い今日この頃です。

ところで今日はその中で、割合求人問い合わせの多い「家事援助」について触れてみようと思います。

一般的な仕事と異なり「福祉・家事援助」となると、同じ個人家庭のことで、一件一件内容が違って来ます。当然プライバシーに立ち入る場合もあり得ますね。最初の面接又は電話の対応だけで依頼される方の心情を

理解できるまで時間がかかるのです。担当した職員の話によると、電話をかけて来るまでの「ためらい」いろいろの思いなどが会話を通じて、ひしひしと感じられるそうです。

この感じた事を家事援助に従事される皆さんに正確に伝える事の難しさと併せ責任の重さを感じると云います。

援助する方、される方、永い人生をそれぞれ違った歩み方をされた方達が、ふれ合い、助け合う、素晴らしい事だと思う反面、人とのつき合いの難しさを垣間見る思いがあります。

平成10年10月24日、25日に行われる所沢市民フェスティバルに参加しての広報活動。

尚、センターとして広く市民・事業主に対しての広報活動等に関しては今後も推進していく予定です。会員皆様のご意見等ございましたらセンター運営に反映させて参りたいと思っておりますので、この機会に是非事業部会または事務局までお寄せ下さい。



すこし固い話になりましたが、でもちょっと待って下さい。家事援助の仕事は決して難しい仕事ではありません。まず踏み込んでみましょう。知り合う楽しみも又あると云うものです。家事援助のお仕事は

一言で云えば「思いやり」「いたわり」この二つだと思えます。男性、女性会員を問わず福祉・家事援助事業に更に理解を深めて頂ければと思いつつ、今日はこれまで・・・ (五社記)

こんな仕事あります

今募集中の仕事(長期)

- 関塾御幸町ゼミナール(御幸町) 屋内雑役 男性1名65才以下
- 有限会社セントラルレイクサヤマ(三ヶ島) 調理関係 男性2名
- 個人家庭(小手指町) 家事補助(清掃) 女性1名
- 個人家庭(東所沢) 家事援助(食事作り含む) 女性1名
- 桑の実会ケアステーション所沢(東狭山が丘) 食事の配達
- 不問・1名 要運転免許
- 株式会社バルカージュ(並木) 公簿取得代行 不問1名

※就業時間等々は事務局におたずね下さい。

当センターを会場に開催

「県生きがい振興財団主催
安全講習会」

去る平成10年7月24日、県生きがい振興財団主催による安全講習会が当シルバー人材センターを会場に開催されました。当日は県内西部ブロックより会員、職員18名が参加し、当センターより、細谷・岸安全委員両名並びに新井主任（安全推進員）が参加し、下記の内容にて熱心に受講されました。

記

一、内 容

- (1) 安全就業について
 - (2) 安全就業事例発表
 - (3) 高齢者の交通安全
 - (4) 自転車講習
- 尚、自転車実地講習は雨天の為に中止になりました。

今後安全委員会で今回の講習を参考に会員の無災害を目標に検討し、当センターでも安全講習を実施したいとのことです。

(事務局)

投稿

忘れ得ぬあの日あの時

新所沢地区 三田信治郎

今年もまた、八月十五日を迎えた。敗戦による終戦から五十二年、もはや、戦後という言葉さえ消えようとしている。

戦争を知らない世代が大半を占める中で、年の経過とともに戦争の苦しみや悲惨な姿が遠く忘却の彼方にかき消されてしまっているのではないかと不安になる。

このような状況のなかで自分が体験したことを正確に伝え、戦争へつながらるものの中には、いかなる圧力にも屈せず反対し

ていかなければならないことを伝えていくことが戦争を知る者の義務だと思ひ、小学校卒業前後の数ある思い出の中から、太平洋戦争中の忘れられたことのないことについてしたためることにした。

(その一)

ラジオの演奏が急に止まると、緊張したアナウンサーの声

が流れる。「臨時ニュースを申しあげます」「臨時ニュースを申しあげます」と二回繰り返し返したあと、軍艦マーチのリズムが、しばらく続く。

「大本営陸海軍部発表（昭和十六年十二月八日午前六時）。帝国陸海軍は本八日未明、西

太平洋に於て米英軍と戦闘状態に入れり」と、莊重に雄叫び調で始まった、あの三十字の名句？の録音放送を教室で聴かされたのは、五十七年前の四年生の時であった。

今日はラジオを切らず放送を聴いてほしい、と伝えたアナウンサーの声が印象に残っている。あの時の戦果は、子ども心に胸のふくらむ思いで聴き、歓喜したのである。

当時、秀才だった級友の中には、子ども心にもこの放送を不吉な黒い予感を持って耳を傾けたのではないかと推察する。

(その二)

「巨星、墜つ」の悲報を耳にしたのは、公表された昭和十八年（一九四三年）五月二十一日より三週間位前だったと記憶している。

家族ぐるみのお付き合いをさせていただいた、山本五十六連合艦隊司令長官のご家族から、「蠟燭」をあるだけお借りしたい、との依頼があった。

半信半疑の母がお尋ねしたところ、「極秘ですが、戦死しました。遺族だけで、静かに通夜をしたい」、との悲しいお言葉でした。

戦前、山本さん宅へお邪魔しては、令息の忠夫君と塀や屋根

に登って遊んだこともあった。ある日、その現場を海軍省から帰宅された彼の父親に見つかり、「危ない遊びはいかんよ」と、注意をされながら、頭を撫でてくださった。

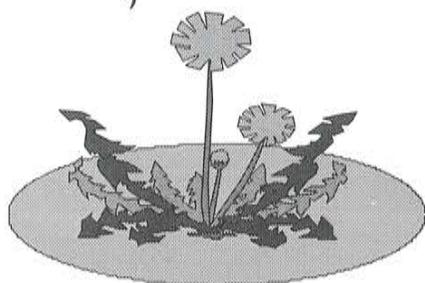
(次号へ続く)



計報を告げる朝日新聞

俳句 梯次 (吾妻地区 溯江梯次)

桜散る寺の地質とボーリング
竹の秋寺建替の埃りかな
改築の寺の石垣含飲の花
馬鈴薯の花は三坪に老樂し
歩く度背と伸ばせよと立葵
菖蒲湯の明るき窓を親しめり
つばくろの出入りする毎怯えけり
お達者に媪の育む夏大根
道の端に子供のラケット落椿
師の庭と見張るる奥の一輪草



短歌 所沢地区 小山 茂

目覚むれば雨だれ聞こえ耳もとで
胸の鼓動と交わりあいつつ
むしりてもむしりても生うる雑草と
庭のすみまで丹念に取る
耳すまし音色のらがうこおろぎの
リズムカルなる声と聞き分く
かすみいる中に見えおり煙突の
たなびく煙綿々と白く
白雲の動くともせぬ遠き空
秩父連山濃紺に澄む

五首目の歌は埼玉県の広報紙「彩の国だより」
九月号に掲載された歌です。

事務局よりお知らせ

▽「会員証」の発行について
平成2年6月1日以前に入会
された方は、センターの前の名
称のままになっていきますので、
新しい会員証を発行致します。
至急事務局まで写真を持参のう
えおいください。

ご連絡が遅れましたことをお
詫びいたします。

▽「会員作品展」開催について
恒例の平成10年度会員作品展
を、平成11年1月下旬に市内コ
ンセールタワー2階(ふらっ
と)で開催を予定しております。
是非とも、今から応募作品
の制作等に着手くださるようお
願い致します。

なお、作品の搬入については
12月の中旬からとなりますので
多数の応募を期待しております。
す。よろしくお願い致します。

▽「記念品」引き取りについて
「二十周年及び定期総会」の
記念品(急須)をまだ受け取っ
ていない方がたくさんいらっ
しゃいます。おでかけのついで
に、事務局まで是非お立寄りく
ださい。

ちよつとしゃれたデザインの
急須です。ご愛用の程!!

あこがき

機関紙第六十四号は会員親
陸旅行と事業普及啓発促進月
間等の内容を主体にして、大
勢の方々のご協力により無事
発行することが出来ました。
寄稿いただいた多くの皆様に
深謝しお礼を申し上げます。
さて、本号がお手元に届く
時は、さわやかな秋風がそぞ
ろ身にしむ頃でしょう。「空は
快晴、景気も晴れ間がのぞく」
ように願いたいものです。

毒物混入と連鎖事件、大雨
による水害、北朝鮮の弾道ミ
サイル発射事件等々、シヨツ
キングな事故が多発した夏で
した。生命の尊さをみつめ直
したいと痛感します。

百歳以上、一万人を超す、と
の厚生省の発表。人生百年は
珍しくなくなったと言ふこと
か。

だれもが迎える終末期です
が高齢期の医療と福祉を考え
るとき、ただ、喜ぶべきか、否
や。
本紙の更なる充実のために
も積極的にご寄稿くださるよ
うお願い申し上げます。

(三田記)